

# (社)可視化情報学会 第22期事業計画

(2010年[平成22年]6月1日～2011年[平成23年]5月31日)

## <概要>

本学会は昭和56年に「流れの可視化学会」としてスタートし、平成18年には創立25周年を、平成21年には法人設立20周年を施行した。近來学会は従来の可視化技術と並べて「情報の可視化」を学会の両輪にすべく、情報分野の展開に重点を置き、「ビジュアライゼーションカンファレンス」を通じた活動の強化を継続している。

第22期においても、「情報の可視化」を重点課題として活動を推進することにより学会の魅力を更に幅広いものとする。最近、様々な場で議論されているように、知識の幾何級数的な増大、細分化と複雑・高度化は、専門家にとってすらその分野の知識を十分に活用することを困難にしている。このような状況を打破するためには、知的要素の相互の関係を明らかにする知の構造化が必要である。知識モデル・情報モデルの可視化はそのための強力なツールとなる。

学会の英文論文集 JOV は国際的にも高く評価されているが、国際的情報発信の拡大と内容の一層の充実を図るべく、2010年1月より Springer 社から出版される体制に移行し、会員へのサービスも充実し、かつ国際的認知度は一層高まりつつある。同様に、和文論文集および学会誌発行についても更なる充実・拡充を図る計画である。

JABEE に基づく大学教育プログラムや技術士の継続教育については、講習会を継続的に開催するなど、引き続きその展開に協力するとともに、学会の意見を反映させていく。

学会活動の活性化と健全化を継続的に推進するが、近年の公益法人等制度改革への対応が急務であり、年会費を含めた学会の財政基盤の強化・見直しを見据えながら学会のあるべき方向を提言していく。

## I 会誌等出版物の発行

1. 会誌の発行：会誌第30巻118号～第31巻121号、第30巻増刊号I(第38回可視化情報シンポジウム)、第30巻増刊号II(全国講演会鹿児島2010)、第30巻増刊号III(第16回ビジュアライゼーションカンファレンス)
2. 論文集のオンライン発行：毎月
3. 英文論文集の発行：英文論文集“Journal of Visualization” Vol.13, No.3～No.4 Vol.14, No.1～No.2の発行
4. 新規書籍の発行：(1)可視化技術ハンドブックの発行
5. 映像作品の編集・オンライン化  
(1)映像ライブラリーのオンライン化
6. その他の刊行物：第11・12回「可視化フロンティア」講習会テキスト
7. 可視化情報学会ホームページの充実・更新

## II 総会、シンポジウム、講演会の開催

1. 総会、シンポジウム、講演会等の開催および準備
  - (1) 第22期通常総会(2010年7月20日、東京・工学院大学・新宿校舎)の開催
  - (2) 第38回可視化情報シンポジウム(2010年7月20日～21日、東京・工学院大学新宿校舎)の開催
  - (3) 全国講演会(鹿児島2010)(2010年10月7日～8日、鹿児島県・霧島市国分シビックセンター)の開催
  - (4) 第16回ビジュアライゼーションカンファレンス(2010年11月5日、東京・タイム24)の開催
  - (5) 全国講演会(富山2011)(2011年9月26日～27日、富山国際会議場)の開催準備
2. 国際シンポジウム等の開催・協力
  - (1) The 14<sup>th</sup> International Symposium on Flow Visualization(ISFV14)(2010年6月21日～24日、Daegu, Republic of Korea)への準備・協力
  - (2) 11<sup>th</sup> Asian Symposium on Visualization(ASV11)(2011年6月5日～9日、朱鷺メッセ、新潟)の主催・開催準備
  - (3) 9<sup>th</sup> International Symposium on Particle Image Velocimetry(PIV11)(2011年7月21日～23日、筑波大学、つくば市)の主催・開催準備

- (4)11<sup>th</sup> International Conference on Fluid Control, Measurements and Visualization (FULCOME11) (2011年12月5日～7日, キイロン, 台湾)への準備・協力
- (5) The 15<sup>th</sup> International Symposium on Flow Visualization (ISFV15) (2012年, ベラルーシ)への準備・協力
- (6)The 16<sup>th</sup> International Symposium on Flow Visualization (ISFV16) (2014年6月1日～5日, 沖縄)の主催への準備

### III 賞の授与等

- 1. 学会賞およびシンポジウムにおける賞の授与
  - (1) 2011年(第22期)可視化情報学会 学会賞(論文賞,技術賞,奨励賞)
  - (2) 2011年(第22期)可視化情報学会 映像賞
  - (3) 第38回可視化情報シンポジウムにおけるベストプレゼンテーション賞
  - (4) 可視化情報学会全国講演会(鹿児島 2010)におけるベストプレゼンテーション賞
- 2. 名誉会員の推挙
- 3. シニア会員の推挙

### IV 委員会・研究会等の活動

- 1. 三委員会および小委員会の活動
  - (1)三委員会：
    - 総務委員会, 編集委員会, 企画委員会
  - (2)小委員会等：
    - 総務委員会関連：
      - 産学連携推進評議会, 表彰部会, 可視化情報センター, JABEEセンター, 新法人移行準備委員会
    - 編集委員会関連：
      - 学会誌編集小委員会, 和文論文集編集小委員会, 英文論文集編集小委員会, ハンドブック編集小委員会, 映像ライブラリー編集小委員会,
    - 企画委員会関連：
      - 可視化情報シンポジウム実行委員会, 全国講演会(鹿児島 2010)実行委員会, 全国講演会(富山 2011)実行委員会, ビジネスコンファレンス実行委員会, 文化フォーラム実行委員会, アジア可視化情報シンポジウム(ASV)国内委員会, 流体の計測・制御と可視化に関する国際シンポジウム(FLUCOME)国内委員会, 流れの可視化国際シンポジウム(ISFV)国内委員会, 粒子画像流速計(PIV)国際会議国内委員会, Pacific Vis 国内委員会, 講習会実行委員会
- 2. 研究会の活動
  - (1) 風洞研究会(主査：阿部裕幸)
  - (2) 可視化情報教育研究会(主査：青木克巳)
  - (3) ビジネス・マーケティング研究会(主査：小山田耕二)
  - (4) マイクロ・ビジュアル化研究会(主査：杉井康彦)
  - (5) ウェブレットと知的可視化の応用研究会(WSV研究会)(主査：李鹿輝)
  - (6) 先端可視化研究会(主査：小野謙二)
  - (7) サイエントフィックアート研究会(主査：中山泰喜)
  - (8) PIV研究会(主査：岡本孝司)
  - (9) 可視化検定協議会(主査：岡本孝司)
  - (10)みえる化研究会(主査：横野泰之)

### V 共催・後援・協賛

- 1. 共催
  - (1) 日本学術会議・機械系学協会合同シンポジウム(2010年6月25日, 日本学術会議 機械工学委員会)
  - (2) 第29回混相流シンポジウム(2010年7月18日, 日本混相流学会)
  - (3) マイクロ・ナノ流体計測技術国際シンポジウム(2010年9月20日～22日, 東京大学 堀場国際会議)
  - (4) キャピテーションに関するシンポジウム(第15回) (2010年11月22日～23日, 日本学術会議第3部)

(5) 第 48 回燃焼シンポジウム(2010 年 12 月 1 日～3 日,日本燃焼学会)

## 2. 後援

(1) 2010 年度上智大学ビジョン・アライアンス・セッション講座(2010 年 4 月 15 日～2011 年 1 月 20 日,日本 SGI(株))

(2) 画像情報教育振興協会 2010 年度検定(2010 年 7 月 11 日(前期),2010 年 11 月 28 日(後期),画像情報教育振興協会)

(3) KAST 教育講座・計算力学の基礎(2010 年 9 月 8 日～30 日,神奈川科学技術アカデミー)

(4) 第 19 回日本バイオイメージング学会学術集会(2010 年 9 月 9 日～11 日,日本バイオイメージング学会)

(5) New Media Technology 立体 Expo2010(2010 年 12 月 8 日～10 日,アドコム・メディア(株))

## 3. 協賛

(1) 第 16 回画像センシングシンポジウム(2010 年 6 月 9 日～11 日,画像センシング技術会)

(2) 第 29 回日本シミュレーション学会大会(2010 年 6 月 19 日～20 日,日本シミュレーション学会)

(3) 第 42 回流体力学講演会/航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム 2010(2010 年 6 月 24 日～25 日,日本航空宇宙学会,JAXA,日本流体力学学会)

(4) 日本混相流学会年会講演会 2010(2010 年 7 月 17 日～19 日,日本混相流学会)

(5) HPC 最先端シミュレーション技術に関するジョイントシンポジウム(2010 年 7 月 29 日～30 日,東京大学生産技術研究所)

(6) 第 29 回日本医用画像工学会大会(2010 年 7 月 30 日～31 日,日本医用画像工学会)

(7) 機械週間(2010 年 8 月 1 日～7 日,日本機械学会)

(8) 機械の日(2010 年 8 月 7 日,日本機械学会)

(9) 第 16 回流れのふしぎ展(2010 年 8 月 14 日～15 日,日本機械学会 流体工学部門)

(10) 日本実験力学学会 2010 年度年次講演会(2010 年 8 月 17 日～19 日,日本実験力学学会)

(11) 6th World Congress on Industrial Process Tomography(Wcipt6)(2010 年 9 月 6 日～9 日, Wcipt6 委員会)

(12) 日本流体力学学会年会 2010(2010 年 9 月 9 日～11 日,日本流体力学学会)

(13) 生体医工学シンポジウム 2010(2010 年 9 月 10 日～11 日,日本生体医工学会)

(14) 日本機械学会関西支部第 309 回講習会(2010 年 9 月 16 日～17 日,日本機械学会関西支部)

(15) 2010 年度計算力学技術者資格認定事業・上級アナリスト(2010 年 9 月 18 日～19 日,日本機械学会)

(16) 第 58 回レオロジー討論会(2010 年 10 月 4 日～6 日,日本レオロジー学会)

(17) 原子力分野におけるスーパーコンピュータとモンテカルロ・シミュレーションの合同会議(BNA+MC2010)  
(2010 年 10 月 17 日～20 日,日本原子力研究開発機構)

(18) 第 38 回日本ガスタービン学会定期講演会(2010 年 10 月 20 日～21 日,日本ガスタービン学会)

(19) 21th International Symposium on Transport Phenomena(ISTP-21) (2010 年 11 月 2 日～5 日,PCTFE)

(20) 第 53 回自動制御連合講演会(2010 年 11 月 4 日～6 日,日本機械学会)

(21) The 5th International Symposium on Advanced Science and Technology(2010 年 11 月 4 日～7 日,日本実験力学学会)

(22) 第 21 回内燃機関シンポジウム(2010 年 11 月 10 日～12 日,日本機械学会)

(23) 2010 年度計算力学技術者資格認定事業 1・2 級(2010 年 12 月 11 日,日本機械学会)

(24) 第 24 回数値流体力学シンポジウム(2010 年 12 月 20 日～22 日,日本流体力学学会)